

(様式2) 【発表要旨】

＜発表者＞ 指導区名：始良・伊佐指導区 氏名：鶴田 正輝

1 発表テーマ

始良・伊佐地域における再造林の推進

2 テーマの趣旨・目的

始良・伊佐地域振興局管内においては、近年、木質バイオマス施設や大型木材加工施設の稼働が始まったこともあり、伐採面積は増加傾向にある。

管内の事業体は再造林について前向きに取り組んでおり、造林面積も増加傾向となっている。

この再造林率をさらに高めていくため、様々な取り組みを行っていく必要があると考えている。

3 現状及びこれまでの取組の成果・課題

① 現状

始良・伊佐地域振興局管内における令和4年度の伐採面積は478haとなっている。対して再造林面積は262haで再造林率は約55%となっている。

これまで取り組んできた主な普及活動

- ・ 未来の森林づくり推進プランWG(ワーキンググループ)の実施
- ・ 苗木生産技術向上講座の実施や成長の良い苗木の生産指導
- ・ ドローンによる苗木運搬研修
- ・ 林福連携への取り組み
- ・ PR看板, パンフレット等の配布と設置

② 成果

- ・ WGの実施による情報共有の促進
- ・ 苗木生産技術の向上及び成長の良い苗木の生産量増加
- ・ 効率的な苗木運搬の選択肢の増加
- ・ 林福連携による苗木及び新たな労働力の確保
- ・ PR看板の設置等による森林所有者の再造林に対する意識の醸成
- ・ 管内の苗木生産量の増

③ 課題

- ・ 新たな労働力の確保

4 今後取り組むべき内容

① 具体的手法又は検討方向

- ・ 他事業種から造林事業への参入者の確保
- ・ 下刈り作業の省力化の推進

② 理由

再造林の推進を図る上で労働力の確保や作業の省力化は喫緊の課題となっている。

労働力を確保するため、造林事業以外を実施している事業体についても造林事業への参入を促進していく。

また、防草シートの活用や成長の良い苗木の植栽により、下刈りの手間や経費を削減し、造林作業の労働力を確保することで再造林面積(再造林率)の増加を図る。

③ 期待する成果

- ・ 他事業種からの新たな労働力の確保
- ・ 下刈り作業省力化による造林作業の労働力確保に伴う再造林面積(再造林率)の増加